

白井市学校教育「なしビジョン」

みんなで育てる“しろいのなし”～7つの取り組み・4つの育み～

育み

①確かな学力 ②豊かな心 ③健やかな体 ④持続可能な社会の創り手

取り組み

①「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり

②「やる気」を育てる生徒指導 ③豊かな人間関係を育む学級づくり

④I C Tの常時活用・有効活用 ⑤全校体制での特別支援教育

⑥「体力」「活力」を高める体育指導

⑦自他の命を大切にする健康・安全教育

生徒数（令和7年4月1日）				
生徒数	1年	2年	3年	計
男	79	87	88	254
女	77	102	69	248
計	156	189	157	502

○生徒指導面からの教育目標へのアプローチ

「教生」～教え合い・共に生きる力を育成する～

（1）生徒指導の機能を生かした授業展開

・わかりやすく、意欲がもてる授業

・場の工夫による自己有用感の育成

（2）学級形成を基盤とした生徒指導

・リーダー、フォロワーとなる生徒の育成による学級経営

・タブレット活用のリモート授業を可能にする授業規律

（3）生徒会活動の充実

・委員会活動（全校評議会、専門員委員会）を中心に据える

・計画的な行事等による集団と個の成長（わたしの役割）

・向上するための生活ルールを自ら考える

（4）生徒指導の研究推進

・生徒指導の現状理解と課題認識、積極的生徒指導の推進

・課題解決のための事例研究、研修

（5）いじめ・長欠・不登校・非行対策の確立

・問題傾向の早期発見と早期対応（アンケート調査）

・適切な生徒理解と学校いじめ防止基本方針に沿った指導

（6）学校外の機関との協力・連携

・家庭、市教委、PTA、地域、相談機関、警察等との連携

・小中接続連携による情報・行動の共有

（7）教育相談活動の充実

・定期の教育相談活動の設定

・日常生活での観察・受容・相談

（8）学年間の連携

・生徒指導部を中心とした各学年間の連絡・調整及び推進

・C4th情報による職員の共通行動、学校体制の確立

（9）学校評価の活用と改善

・3カ年をととしての学校満足度の推移と改善対策

令和7年度

七次台中学校教育プラン

○学校教育目標



「挑戦」～Go Seven's Go!～
（進め、七中生！ 伝統継承と進化）

○令和7年度の生徒育成のポイント

「学力・体力・絆の向上」

○学年目標

1学年 共に高め合おう ～学習 生活 行事 絆～

2学年 プラス思考する集団 ～心ばかばか一生懸命～

3学年 今頑張る ～自分のために 仲間のために 未来のために～

【目指す教師像】

生徒が目標に向け「気づくこと」「考えること」「活動すること」「評価すること」を支援する教師

○特別活動面からの教育目標へのアプローチ

★目標 ・高め合える人間関係づくり ・協働を通した課題解決

・自己実現に向けた継続力

（1）自分と仲間との役割を認識し、集団としての向上に努める

（2）集団の中でより望ましい人間関係を築き、学級・学年の所属感や連帯感を高める

（3）学校行事をととして学校生活に秩序と変化を与え、公共の精神を養う

（4）健康・安全に留意した生活を心がける

（5）自己を理解し、適切な進路を選択する能力を育てる

○道徳面からの教育目標へのアプローチ

★目標 ・自他の尊重 ・社会貢献の姿勢 ・感動する心

（1）温かい人間愛の精神を高め、思いやりの心を育てる

（2）多くの善意や支えに感謝し、それにこたえようとする心を育てる

（3）自主的・自律的に行動する機会を設定し、社会性や判断力を育てる

○総合的な学習の時間からの教育目標へのアプローチ

★目標 七次台中の現状を踏まえ、地域の人々や事象とのかかわりについて深く探究することをととして、個人が獲得する自己肯定感や自己実現と、人とのつながりや社会貢献意識を一体的に育む

「ウェルビーイング」（より良く生きる）

（1）安心安全な環境・多様性への理解を深める

（2）自己肯定感・協働性を高める

（3）利他性・幸福感を育み、自己実現の力を高める



所在地
白井市七次台1-21-1

電話
047-491-1275

FAX
047-492-3018

○生徒会活動からの教育目標へのアプローチ

★目標 望ましい人間関係を育成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる

○生徒会活動の柱「協働」

（1）生徒の諸活動計画や運営

（2）異年齢集団による交流

（3）生徒の諸活動についての連絡調整

（4）学年行事への協力

（5）ボランティア活動などの社会参加

「生徒会活動をととして、将来、役立つ力をつける」

・毎月2回の学級会

・全校評議会は提案の場、専門委員会は活動の具体的な準備の場

・役割意識の向上（リーダーとマネージャー）

・顧問のチーフ制による継続性と活動内容の向上

○学習面からの教育目標へのアプローチ

【研究主題】「脳に汗をかく指導の在り方」

～余韻を残して自主学習に繋げる指導の工夫～

（1）「ウェルビーイング」（より良く生きる）のための力の育成

・自分の力で課題解決に向けて計画を立てられる

・自分の力で課題解決のためのアプローチができる

・自分で課題を見出し、新たな価値を創造できる

（2）脳に汗をかく指導の充実

・話して表現（発言・対話・発表）

・書いて表現（まとめ・振り返り・感想・考察）

・自ら問いを生み出す（疑問・課題発見・探究心）

（3）最先端の教育と多様な支援の充実

・AIやタブレット等の活用

・個別最適な教育の充実

・校内教育支援センターの充実

（4）家庭学習の充実

・スケジュール帳の効果的な活用

・自主学習につなげる授業づくりと適切な支援

（5）授業改善の充実

・学校評価アンケート、授業アンケートの活用と改善

・相互授業参観

・自主的な授業公開